

報告日 令和7年2月19日  
報告回数 5日目

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	東大和市役所			代表者名	和地 仁美
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	政策経営部広報プロモーション課	連絡先電話番号	042-563-2111
担当者役職	プロモーション係長	担当者氏名	横山太一	連絡先E-mail	
住所	2078585 東京都東大和市3-930				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	情報発信ありかたの見直し
概要	広報ありかたの見直し及びそれに伴うシビックプライドの醸成に関するICTの活用について、助言をいただきたい。		
支援を求める分野	ICT活用広報 その他		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	371	令和7年2月19日	支援・助言	オンライン
		派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	
		令和7年1月15日	支援・助言	10時00分	12時00分
				活動時間(分)	120

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実際に広報紙を見ていただきながら、的確なアドバイスをいただいた。 また、今後のリニューアルに向けて、デジタルの役割と広報紙の役割をわかりやすく教えていただき、広報紙をリニューアル後どのようにしていくべきかという具体的な方向性が見いだせた。
アドバイザーへの要望事項	

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・ 広報紙リニューアルに関して懸念事項などの整理 現広報紙に関するアドバイス等 実施した広報紙リニューアルオンラインアンケートに関する評価手法
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・ 広報紙リニューアルに関して懸念事項などの整理 これまでいただいたアドバイスを参考に、現行の広報紙をマイナーチェンジをしてきた。その現行の広報紙をもとに、今後の広報紙をどのように検討していけばよいかという知見を得たうえで、リニューアルに活かす。

<p>アドバイザーに支援を受けた内容</p> <p>(具体的にご記入下さい)</p>	<p>以下のとおり、ご助言いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直近の広報紙へのコメント・アドバイスについてとても良くなっているとのこと意見をいただいた。</li> <li>デジタル化を推進することは必要だが、すべてをデジタルとはせず広報紙の強味を生かす。広報誌は情報の玄関口であり、すべてを伝えると考えない。広報紙自体を魅力的にすることで、市のことを知ろうと思ってもらう仕掛けをつくり、ホームページなどに訪問させるという方向で考える。</li> <li>リニューアルに関して抵抗感を表す方への対策として、デジタルによる情報保障や広報紙としての役割を明確に説明できるようにする必要がある。</li> <li>現行広報紙に、もう少しイラストやフォントでの統一感を持たせると、より良いものになると思う。</li> <li>島田市、西条市等の広報紙で有名な自治体との広報紙交換をすると大変参考になるはずである。</li> <li>また、来年度の広報コンクールが埼玉県北本市で開催されるため、来てみてはどうか。</li> <li>実施した読者アンケートについて</li> <li>NPSにおいて、クロス集計を実施し、6点を7点に7点を8点にできる施策を検討するとよい。上2割を増やすことで、全体も底上げさせる。その際は、東大和市版広報NPSを作ってしまう、分析して構わない。</li> <li>そういった意味では、今後広報紙を分析ツールとして活かすことも考えられる。広報紙・LINEモニターを募集(20~50人)し、広報紙やLINEについてご意見を集める仕組みなども効果的である。それが、広報紙をお薦めしてもらえるような仕組みにも繋がる可能性がある。イメージとしては、広報紙をつくる仲間を増やすという感じである。</li> </ul>
<p>支援を受け改善又は解決された内容</p> <p>(具体的にご記入下さい)</p>	<p>来年度の広報紙リニューアルに向け、具体的に検討するための材料をいただくことができた。</p>
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 <input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない現時点ではない。</p>
<p>改善又は解決されなかった内容</p> <p>持ち越しとなった内容</p> <p>(具体的にご記入ください)</p>	<p>特になし。</p>
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>助言・支援のため</p>
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい <input type="checkbox"/> ②次年度に予算化を図り推進する</p> <p>令和8年1月に広報紙をリニューアル予定</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>次のことにより、これまで市民に届けきれなかった市の魅力を届けられるようになり、シビックプライド醸成またそれに伴い市民の地域への参加意欲や感謝意欲が向上されることにより、市民全体としての居住満足度及び生活における幸福度が向上することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市報東やまと」のリニューアル及びSNSの活用方法の見直し等によって、老若男女問わず、市民の方が容易に情報収集できるような情報発信を実施する。</li> <li>シティプロモーションにおける市民や市内事業者を巻き込んでの市の魅力発信に関する考え方や手法の習得</li> </ul>
<p>5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可</p> <p>掲載許可 <input type="checkbox"/> ○掲載可</p>	
<p style="text-align: center;"><b>なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b></p>	

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

